



伊勢市教育研究所

たより



<第9号>

http://www.ise-mie.ed.jp/~kenkyusyo
E-mail:kyo-kenkyu@city.ise.mie.jp

令和2年12月25日
伊勢市教育研究所
伊勢市小俣町元町540番地

第1回 不登校対策子ども未来サポート研修会

11月19日(木)、第1回不登校対策子ども未来サポート研修会をオンライン形式で開催しました。講師として瀬戸 美奈子先生(三重大学教養教育院教授)をお迎えし『**援助チームをつなぐコーディネーターの役割**』という演題でご講演いただきました。

講演では「コーディネーターの役割」を中心に、具体的な援助チームのコーディネーション行動やチーム援助のタイミングについて教えていただきました。また、先生が担当されたいくつかの事例をもとに、グループワークで意見交流をしました。

瀬戸先生のお話より

**Bestな援助より、Betterな援助を！
ちよっとばかりのおせっかい心！**



◎コーディネーターの役割

- ・援助の開始から終結までのプロセスのマネジメント
- ・援助資源(人)、援助方針、援助活動の調整
- ・援助チームのおぜん立てとかじ取り

◎援助チームのコーディネーション行動

- ①説明・調整
- ②アセスメント・判断
- ③保護者・担任との連携
- ④専門家との連携

◎コーディネーターを支えるもの

- ①コーディネーターの能力・権限…状況判断、チーム援助形成、専門的知識、話し合い能力、役割権限
- ②学校要因…援助体制への管理職の積極性、学校全体的話しやすさ、チーム援助の行いやすさ(校内委員会のメンバー・保護者との日常的な交流、各担当の情報の共有)

お子さまランチを作ろう！



その子のことを思い浮かべて必要なもの(サポート)を考えて用意し、サポートの方向性をまとめる。

～参加者の感想より～

- ・困り感を出し合えるような雰囲気づくりをしていきたい。
- ・瀬戸先生の「おせっかい心」という言葉に背中を押されました。子どものために、担任や保護者からの相談を待つのではなく、積極的にアプローチしていくことが大切だと改めて考えました。
- ・個人で抱え込まず、校内委員会などを利用し、みんなで考え、チームで援助していく必要があると思いました。またその際に、該当児童の担任の特性も考慮し、方向性を決めていくことも大切なことがわかりました。
- ・情報の共有をしつつ、保護者、教員、児童生徒についても、それぞれの立場のプライドを傷つけないように、チームで対処していけるようにすることを忘れないで取り組んでいきたい。



学習支援ソフト「ロイロノート」活用に係る研修会

11月6日(金)・12日(木)

Zoomを使ったオンライン形式で開催された上記の研修会では、本ソフトの有効活用方法についての説明が中心におこなわれました。各校1名以上の参加で行われたこの研修では、「学習の新しい可能性が広がるのでこれから使っていけば良いと思います。」「校内の様々な世代の先生方に理解していただくことが必要です。」という声が聞かれました。

研究所では、今後もタブレット活用に係る研修会を行っていきます。



to be continued...



GIGAスクール構想の実現に向けた教職員対象研修会

日時：令和3年1月8日(金) 15:30~16:30

実施形態：Web会議システム「Zoom」を使用したオンライン研修会

内容：『1人1台端末環境で目指すべき学びについて』

講師：平井 聡一郎

(文部科学省 ICT 活用教育アドバイザー)



教育支援センターNESTより活動報告

トンボ玉作り

11月17日(火)伊勢まなび高等学校の先生方に教えていただきながら、トンボ玉作りに挑戦しました。ガスバーナーの使い方を教えていただき、先生が実際にトンボ玉を作製するのを見て、その後自分たちも作製してみました。「ガラスが溶けるのを見ているとおもしろかった。ガラスを熱くしすぎるとあつかいが難しくなるので大変だった。でも、自分で作るのは楽しかった。」「いろんな色やいろんな模様が出せて楽しかった。」という感想の通り、色とりどりで個性豊かな素敵なトンボ玉がたくさんできました。



みかん狩り



11月27日(金)穏やかな晴天のもと、南勢町の『ないぜしぜん村』でみかん狩りを体験しました。五ヶ所湾に面した南向きの斜面でたくさんみかんを採りました。少し山を登り、素晴らしい景色が見える場所で、昼食を食べ、採りたてのみかんをみんな美味しそうに頬張っていました。「みかん狩りは、みかんとかも2kg持って帰れたし、みんなともたくさん話ができて、とてもうれしかったです。」「話したり、話しかけられたり、人ともとても触れ合え

ました。」という感想の通り、みかんの収穫だけではなく、自然の中で楽しくおしゃべりできたことも、思い出になったようです。